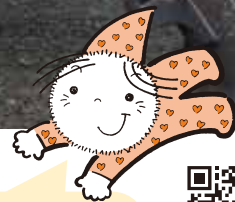


けさらん



【特集1】 JA コネクトのお知らせ

【特集2】 もんとあ～る「シャインマスカットまつり」

JA鶴岡ホームページ
各種サービスは
こちらから！





MONTEARL
もんとあ〜る



おすすめパン

だだちゃあんバターサンド 300円(税込)



だだちゃ豆の
あんをたっぷり
はさんだバター
サンド。

コーヒーあんぱん 230円(税込)

ブラジル産コーヒー
を使用したパン生地で
【コーヒーあん】と【ホ
イップ】を包みました。
ちょっとほろ苦いあ
んこがアクセント！



※このほかにも色々なパンをご用意しております
ので、ぜひご賞味ください♪

取扱店舗／もんとあ〜る駅前店

📷
今
月
の
モ
デ
ル



中野京田 工藤 ^{あみ}亜美ちゃん 16歳
^{だい き}大輝くん 14歳
^{り な}里奈ちゃん 9歳

●父 ^{ひらく}拓さん ●母 ^{あこ}亜子さん
●祖父 ^{はるかず}春一さん ●祖母 ^{さち}幸さん

夏休み中は、枝豆の手伝いを頑張ってくれた3きょうだいです。忙しく、ゆっくり遊びに行けなかったけど、稲刈りが終わったらどこかに行こうね。

2学期に入り、勉強に部活に習い事に…大変だと思うけど、頑張れ！それぞれの場所で頑張る3人を、家族みんなで応援しています。

組合長コラム

徒然なるままに

米騒動

1918年、大正の米騒動勃発。シベリア出兵を見込んだ米商人が買い占めたため、倍以上の米価となり全国で大暴動が起きた。当時の寺内内閣は総辞職に追い込まれ、ついに政府主導の需給統制が始まる。しかし、ヤミ米と言われる流通米が全国で広がった。経済大国へと駆け上がる日本。60年代になり自前で主食を賄えるようになる。しかし生産過剰となり、減反政策に舵を切る。

そして93年。日本のコメ市場は再び揺れた。私は今でも覚えている。10月に始まった稲刈り。山の上の方は稲穂が垂れない。作況指数74の大凶作。平成の米騒動がやってきた。米の卸値は5万円を超えて、史上最高値更新。細川護

熙首相は、米の輸入を決断。政府は米政策の見直しを進めた。食料企画課の針原寿朗氏がナタを振るうも、連立政権下のため中途半端な結末に終わった。この時、食糧備蓄法が施行された。

2024年、令和の米騒動。原因の半分以上は、酷暑だったという事より、政府の統計数値の乖離によるものであった。

百年の間に三回起こった米騒動。言えることはただ一つ、想定外の事が起こった途端、この国から食料が消えるという事。日本の食糧事情がこのままでもいいわけがない。この国の食卓を支える事、それが我々農家・JAの誇りである。

代表理事組合長 保科 互



「だだちゃ豆」の収穫体験を実施 大泉フェローズ



収穫体験楽しいね！

農事組合法人「大泉フェローズ」は8月23日、鶴岡市布目の収穫体験圃場（ほじょう）で、特産エダマメ「だだちゃ豆」の収穫体験イベントを開催した。県内外から103人が参加し、同法人のベテラン農家からアドバイスをを受けながら、「白山」10株の収穫やさやもぎ作業を体験した。宮城県から毎年参加している家族は「味が濃くて塩がいらぬほどおいしい」と笑顔で話した。

同法人は、大泉地区の農家77戸で構成され、米と大豆を生産・販売する同市最大の農事組合法人。「だだちゃ豆」の魅力を広く知ってもらおうと収穫体験圃場を開設し、今年で11回目を迎えた。参加者は畑での収穫を楽しみ、各ご家庭で「だだちゃ豆」の味と香りを存分に堪能した。

「だだちゃ豆の日」にPR! 庄内空港と加茂水族館で試食会

生産者団体と鶴岡市、J A 鶴岡で構成する鶴岡地域だだちゃ豆生産者組織連絡協議会は、「だだちゃ豆の日」の8月8日、庄内空港と東北エプソンアクアリウムかもすいで、旬の特産エダマメ「だだちゃ豆」の試食会を開いた。空港利用者と来館者あわせて約400人に振る舞い、おいしさをPRした。

庄内空港では、生産者や市職員、同J A 職員が利用者約150人に「8月8日はだだちゃ豆の日、鶴岡特産の『だだちゃ豆』をどうぞ」と声を掛け、ゆでた「だだちゃ豆」入りのカップを手渡した。試食した人たちは「豆が甘くてとてもおいしい」と笑顔を見せた。

同協議会の加賀山雄会長は「生産者が丹精込めて育てた『だだちゃ豆』を、これからも自信を持って全国に届けていきたい」と話した。



だだちゃ豆のふるまいをする加賀山会長㊤

自慢の「白山」収穫最盛期 大泉枝豆直売グループ



「白山」を袋詰めする佐藤副会長。

特産エダマメ「だだちゃ豆」の主力品種「白山」の収穫が最盛期を迎えた。女性部大泉支部の大泉枝豆直売グループが運営する大泉だだちゃ豆直売所（中央支所駐車場内）には、出荷を待ちわびた買い物客が県内外から訪れ、連日行列を作った。

今年は種子の発芽から定植まで順調に推移。5月の強風による生育の遅れもその後の好天で回復した。着莢状況は良好で、今年も香りと甘みのそろった「だだちゃ豆」に仕上がった。

同グループ副会長の佐藤嘉さんは「会員一人ひとりが丹精込めて育ててきた、自慢のおいしい『白山』をぜひ味わってほしい」と話した。

直売所は7月にオープンし、「小真木」から「白山」まで5品種を取り扱い、8月30日に今期の営業を終了した。



予算拡大や資材高騰対策を国・県に要請 食料・農業・地域政策推進山形県要請集会



ガンバロー三唱で意思を一つにする参加者たち。

山形県農協農政対策本部は8月18日、山形テルサで食料・農業・地域政策推進山形県要請集会を開催した。県内JAから約750名が参加し、吉村美栄子県知事や国会議員らも出席。当JAからは農政対代議員や役職員26名が参加した。

山形県農業協同組合中央会の若林英毅代表理事会長は、「持続可能な農業には構造改革の加速が不可欠であり、食料安全保障の観点から予算や制度の拡充が必要だ」と挨拶。代表要請では、水田・畑作農業対策の確立や、資材価格高騰への機動的な対応、農業関連予算の拡大など具体的に要請したほか、代表者4名による意見表明も行われた。

最後にガンバロー三唱を行い、今後も国や県へ働きかけていく意思の統一を図った。

高温登熟で適期刈り取り徹底を 鶴岡地域良質米生産推進協議会

鶴岡地域良質米生産推進協議会は8月25日、作柄検討会を開いた。関係者約40人が参加し、稲の生育状況や刈り取り適期の確認を行った。

参加者は、「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」の圃場（ほじょう）に加え、今年度から新技術として試験している乾田直播の「はえぬき」の圃場や、新品種「ゆきまんてん」の圃場など、管内5カ所の展示圃を巡回した。

春作業は平年並みで、初期生育は概ね良好。管内では出穂が平年より4～5日程度早く、平均で「はえぬき」が7月26日、「つや姫」が8月4日となっている。7月下旬には曇天が続いたものの、その後は日照時間も増え、気温も平年より高めに推移。今年も高温登熟年となっており、適切な水管理と、適期刈り取りの徹底を呼びかけた。



青籾歩合を調査する耕種指導係。

伝統の山焼き作業を行う 田川焼畑赤かぶ



山焼きを行う班員。

田川焼畑赤かぶ専門班は8月19日、鶴岡市の杉伐採地で恒例の山焼き作業を行った。

山焼きは、同地区特産の「田川焼畑赤かぶ」生産に欠かせない伝統的自然農法。毎年8月に行われるが、今年は猛暑を考慮して開始時間をずらし、午後8時頃から深夜にかけての作業となった。

下草刈りなどの事前作業を終えた斜面上側から火をつける。灼熱の炎と暗闇の中、燃え広がりを調整しながら約6時間に及ぶ過酷な作業となったが、この杉の灰が大事な肥料となる。

特産の「田川焼畑赤かぶ」は10月上旬に収穫を迎え、約6トンの出荷を見込む。パリッとした食感で辛みがあるのが特徴で、同専門班の眞田隆班長は「無事に終わり良い灰ができた。収穫を楽しみに作業したい」と話した。



高品質・高単価でスタート！ ミニトマト目揃い会



サンプルを確認する生産者。

ミニトマト専門部は8月19、20日の2日間、西郷選果場と北部集出荷場でミニトマトの目揃い会を開き、生産者約110人が参加した。

園芸指導係は、出荷規格の等級や階級、出荷時の注意点について説明。特にカビ果防止のため収穫後の水洗いを避けることや、激しい気象変動に応じたこまめな肥培管理を呼び掛けた。

販売係は「他産地のピークが過ぎ、高品質、高単価で販売がスタートしている。選果・選別に留意し、1匁でも多く出荷してほしい」と話した。

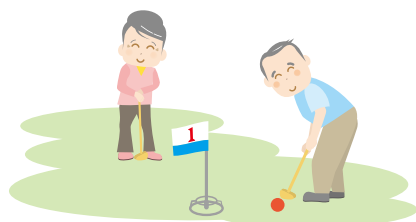
ミニトマトはJA鶴岡の最重要園芸品目の1つ。今期は部員153人が約18.0畧で栽培しており、約635トンの出荷数量を見込んでいる。出荷は8月中旬から始まっており、10月中旬にピークを迎え、11月まで続く。

各地区で開催 グラウンドゴルフ大会

南事業所

南事業所は8月21日、櫛引総合運動公園で第21回グラウンドゴルフ大会を開き、30人が参加した。成績は次の通り。

- 優勝 小菅 隆次さん(高坂)
- 2位 長谷川富子さん(高坂)
- 3位 阿部 信矢さん(伊勢横内)



南事業所 プレーを楽しむ参加者

※南事業所はプレー終盤の大雨により表彰式ができませんでした。

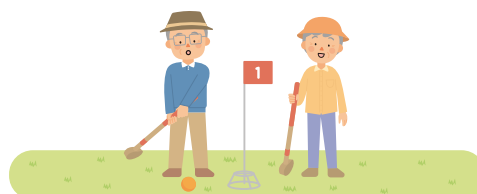
西郷支所



西郷支所杯 上位成績者(左から玉城さん、阿部さん、鈴木さん)

西郷支所は8月22日、農林活性化センターのグラウンドで第14回西郷支所杯グラウンドゴルフ大会を開き、地域住民の皆さんと職員ら48人が参加した。成績は次の通り。

- 優勝 阿部 智さん(下川上)
- 2位 玉城 孝一さん(下川下)
- 3位 鈴木 祥二さん(下川下)



JAコネクトの利用を推進しています!

JA鶴岡が公式に提供する**無料アプリ**です。
営農をされている組合員の利用率100%を目指しております。
便利な機能が増えて利用者拡大中!
ぜひご利用をお願いいたします。



営農情報



JAからの
お知らせ



研修会・
イベント告知



資料・PDF



キャンペーン



メッセージ



スマートフォンやタブレット、パソコンでも利用できます。

JAコネクトで確認できる情報

- 稲作情報などの営農情報
- お得なキャンペーン・イベント情報
- 病虫害防除情報
- JAからのメッセージ
- 補助事業情報
- 研修会の開催情報
- 届いた情報は、あとからいつでも手元で見返せます

写真やPDFも
スマホで
確認できます!



便利な機能が拡大中

- 青色申告向けのJA取引データを配布
- 今後、より便利な機能の追加を予定しています。



ますます便利に
なります!

導入はかんたん!

- 1 iPhoneはApp Store、AndroidはPlayストアから「JAコネクト」をダウンロード
- 2 JAから交付された「アカウント」と「あいことば」を入力
- 3 すぐに利用開始が可能!

ダウンロードはこちら



お問い合わせ



「アカウント」「あいことば」がわからない方、
JAコネクトの導入でお悩みの方は

JA各支所・事業所へ
ご連絡ください

お気軽に
ご相談
ください!



産地直送!!
『提携産直フェア』



シャインマスカット まつり

9月19日(土) 20日(日)

出張販売

山形市・JAやまがた
ファーマーズマーケット「おいしさ直売所」

「シャインマスカット」

県内有数のシャインマスカット産地
上山市&山形市本沢地区産

もちろん
鶴岡産も
たくさん入荷!



秋彼岸準備も「もんとあ〜る」で

9/18(金)・19(土)は
花売場を拡大!!

白山店

鶴岡市白山字西野191-2

(営)9:00~17:30 TEL0235-25-6665

駅前店

鶴岡市日吉町3-3

(営)9:30~17:30 TEL0235-22-0202

青年部だより

JA YOUTH
盟友が
行く!!



大泉支部

8/7 保育園にだだちゃ豆を プレゼント



園児に「だだちゃ豆」をプレゼント!

支部では、地域農業への関心を高めてもらおうと、毎年市内の保育園などに贈呈を続けており、今年で22回目の取り組みになります。

同

支部の部員が栽培した「だだちゃ豆」を食べて、暑い夏を元気に過ごしてもらいたいとの思いから、大泉保育園に袋詰めした「甘露」5^{kg}を贈り、園児にプレゼントしました。

贈呈した「だだちゃ豆」は、さっそく園内でゆでられ、おやつとして提供されました。

白幡昭平園長は「子どもたちは『だだちゃ豆』が大好きなので、とてもうれしく思う。地元の名産を誇りに思いながら、これからもたくさん食べてほしい」と話しました。



だだちゃ豆について話す青年部員

もんとあ〜るでは、イベントなどで提携産直さんにお越しいただいていますが、実は、こちらから産直スタッフが提携産直さんにお伺いすることもあります。今回は、その様子を写真とともにお届けします♪

もんとあ〜る通信



JA千葉みらい

『しよいか〜ご習志野店』
(千葉県習志野市)

メロン・野菜・庄内の銘品など



JAさくらんぼひがしね

『よってけポポラ』
(山形県東根市)

だだちゃ豆・野菜など



JA高知県

『とさのさと』
(高知県高知市)

和梨、洋ナシ、野菜など



ご紹介した産直以外にも足を運び、鶴岡の魅力を各地に発信しています!

(左から)

かとう るい
加藤 隼くん 令和4年12月生まれ

かとう りお
加藤 理央くん 令和7年9月生まれ

湯野沢

お父さん：光貴さん お母さん：圭さん

ふたりの笑顔に囲まれて、
毎日にぎやかに過ごしています。

写真掲載のご希望は総合企画課 ☎33-8179までお気軽にご連絡下さい。

赤ちゃんの頃の
白斗くん

**警戒心強めで はくと
細マツキヨな白斗くん**

飼い主 土岐 美央さん（上郷）

わんちゃん 秋田犬

現在3才33kg。ドライブと雪遊びが大好き♪朝は夫と夕方は私と熊パトロール/散歩してます。普段は吠えないけど本気を出せばマタギ犬の威厳が頼もしい！

料金受取人払郵便

鶴岡局承認

261

差出有効期限
令和8年10月
13日まで

（切手不要）

郵便はがき

9 9 7 - 8 7 9 0

鶴岡市日吉町3-1

JA鶴岡 広報係 行き



※差し支えなければご記入ください。

ご住所	〒		
	市		
ふりがな		性別	年齢
お名前		男・女	
電話番号			

※ポストに投函されるか、下記の無料ファックスダイヤルまで送信下さい

〈無料ファックスダイヤル〉0800-800-5090

（キリッマーク）



和田良太園芸指導係が 2年連続で国スポゴルフ競技への 出場を役員室へ報告

営農販売部生産振興課園芸指導係（大山事業所・花き担当）の和田良太さんが、第80回国民スポーツ大会「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」に出場することを役員室に報告しました。和田さんは「本番では、これまで支えてくださった皆さまへの感謝を胸に、最後まで粘り強く戦う」と意気込みを述べました。和田さんはゴルフ競技において2年連続での国スポ出場となります。



2年連続国スポ出場を果たした和田園芸指導係☎

JA鶴岡では、職員のさらなる活躍を期待するとともに、今後もさまざまな挑戦を全力で応援しています！

クロスワードパズル

色付きマスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉はなんでしょう？ 締切は10月7日消印有効。どしどしご応募下さい！
正解者の中から抽選で5名様に、1,000円分の『JA鶴岡お買物券』をプレゼント！ご応募お待ちしております！

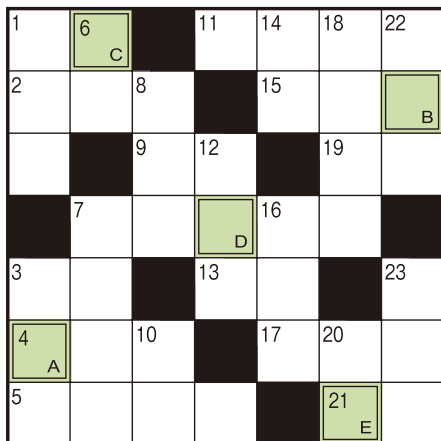


↓ タテのカギ

- 1 おでんにつける黄色い薬味
- 3 アフリカ大陸北部に広がる——砂漠
- 6 仏花によく使われます
- 7 運動会の競技のひとつ
- 8 小豆は昔、赤い——と呼ばれました
- 10 えんぺらがある魚介類
- 12 ダーウィンが提唱した——論
- 14 夫の配偶者です
- 16 皮がむきやすい黄色い果物
- 18 秋桜ともいわれる花
- 20 いざというとき、体を膨らませる魚
- 22 酒などを買う前に、味や香りを確認
- 23 「考える人」で知られる彫刻家

→ ヨコのカギ

- 1 ——食えば鐘が鳴るなり法隆寺（子規）
- 2 ヒトコブだったりフタコブだったり
- 3 味噌煮にしてもおいしい魚
- 4 元のものから分かれ出ること。新たな問題が——する
- 5 橋につけられた柵
- 7 油絵を描くのに使う布。画布ともいいます
- 9 ——の上にも三年
- 11 転居、屋移りともいいます
- 13 漢字から作られました
- 15 歯を抜くときにかけるもの
- 17 付けている人は誰なのかが書いてあります
- 19 寺院に入るときくぐることも
- 21 彼はクラスで——を抜いて足が速い



先月号の答え

クツワムシ

理事会開催報告

2026.8.25 開催

議決する議案はなく、事業に関する各種報告・確認が行われました。

クロスワードのこたえ

■正解者の中から、抽選で5名様にJA鶴岡事業利用券をプレゼント致します。

ふれあい伝言板

■広報に対するご意見、ご感想のほか、誰かに伝えたい・聞いてほしい話などなんでも結構です。皆様のあたたかいお声をお待ちしています！

2026年
10月1日(木)～10月31日(土)

JA直売所で
JAカードのご利用で

10%割引!

ご請求時

対象のJA直売所はJAカード5%割引を実施している店舗です。

※本特典は、対象のJA直売所でJAカードのご利用をいただくと、通常ご請求時5%割引となるものが、期間限定で10%割引となるものです。

※一部対象外の店舗・施設や商品・サービスがございます。Aコープは対象外です。

■対象店舗の確認、特典の詳細はこちら
<https://www.cr.mufig.jp/jafarmmarket2026/>



生産資材店舗の冬期営業時間について

◆令和8年10月1日～令和9年2月28日

- ・生産資材配送センター
- ・JAグリーン資材館
- ・JAグリーン西郷店

8:45～17:00
【日曜定休】

※3月1日より定休日無しで営業いたします。

生産資材課棚卸日程と休業のお知らせ

★棚卸実施に伴い全店休業となります。

配送センター・JAグリーン資材館・JAグリーン西郷店

9月25日(金) 終日休業

『期限切れ農薬』の回収について

「期限切れ農薬」
の回収実施日

10月21日(水)

注) 来月号本誌に処理依頼書を折込いたしますので、

回収実施日に一緒に持参してください。

尚、処理料金は口座振替させていただきます。

【お問い合わせ先】生産資材配送センター

☎0800-800-6006

もんとあ～る10月定休日

10月14日(水)

日本農業新聞

知ることは、未来を切り拓く。

生産部会にも
役に立つ 秋から読もう キャンペーン

申込期間 令和8年9月15日(火)～令和8年11月30日(月)

新規購読で 今ならもらえる！

受取方法

- ・令和9年1月頃に、JAを通じて
ギフトカードをお届けします。

対象者

- ・生産部会長・部会員の方
- ※再購読の方、JA役職員は対象外です。

月額 2,403円(税込)

電子版

を新規購読1年以上

月額 4,200円(税込)

併読

紙版
+
電子版

を新規購読1年以上

GIFT CARD
2,000円

GIFT CARD

3,000円

月額 3,100円(税込)

紙版

を新規購読1年以上

GIFT CARD
1,000円

※景品表示法に基づき、ギフトカードの金額を設定しています。 ※購読期間は1年以上が条件となります。

お申し込みは JA 鶴岡生活課 (0235-23-5045) まで

灯
あかり
台みなさんは、霊の存在
を信じますか。

妻が小学生のころ、夕方に犬を散歩させていてある公園に差しかったときのことで。近所の犬たちが数匹集まっており、悲しそうな鳴き声を上げながら、何かを見るように同じ方向へ首を向けていたそうです。妻が連れていた犬も同じ様子だったので、不思議に思ったと話してくれました。翌日、近所のおばあさんが亡くなっていたことを聞き、「おばあさんが何かを伝えたかったのかもしれない」と感じたそうです。

霊は私には見えませんが、私たちのまわりで見守ってくれている霊もいるのではないかと思います。静かに手を合わせ、先祖に「ありがとうございます」と感謝の言葉を伝える。そんな時間を、これからも大切にしていきたいです。

広報委員 佐藤 吉一
(大泉)

農サポやまがた からお知らせです

※「農サポやまがた」は やまがた農業支援センター の愛称です

農地の貸し借りの制度の **農地中間管理事業** をご活用ください



出し手農家のメリット

- ＊公的機関が農地を預かるので安心です
- ＊契約期間終了後には確実に農地が戻ります
- ＊賃料は確実に機構から振り込まれます

受け手農家のメリット

- ＊複数の出し手農家の農地を借りても契約は機構とのみ行うので手間が省けます
- ＊口座振替で賃料の支払いが便利です

手数料について ◎令和7年から農地中間管理事業の利用には『手数料』のご負担をお願いしています

◎農地中間管理事業の手数料について

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。

このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることといたしました。なにとぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

◎手数料の概要

- 対象は令和6年10月以降に公告になる満期再契約及び、更新・新規契約から
(直ちにすべての契約が対象になるものではありません)
- 毎年、出し手・受け手それぞれから納付
- 手数料の額は毎年の賃料に0.75%を掛けた額
(例: 10aあたり賃料1万円の場合の手数料は75円)

★詳しくは やまがた農業支援センター(023-631-0697)またはセンターのホームページをご覧ください。

2026年10月1日 中央支所・西郷支所にて 取扱いスタート

投資信託・国債

未来に向けた資産づくりを、私たちと一緒に始めませんか？

投資信託のご案内

- 窓口にて担当者が商品説明をいたします。
- お申込みは、ご自身のスマートフォンから「JAバンクアプリ」を使用してスムーズにお手続きいただけます。

【75歳以上のお客様へ】

書面でのお手続きにてご対応させていただきます。
安心して窓口までご相談ください。

国債のご案内

- 個人向け国債・新窓販国債の販売等のお手続きは、**各支所の窓口**にて承ります。
- すでに当JAで国債をお持ちのお客様のお手続きにつきましては、**金融本店**にてお手続きを承ります。
- お取扱店の変更も可能です。ご希望の際は、事前に金融本店までお問い合わせください。

窓口でのご相談・お手続きは「事前予約制」となっております。ご来店の前に各支所へご予約をお願いいたします。

お問い合わせ・ご予約はこちら（各支所窓口）

金融本店
TEL 0235-22-3260

中央支所
TEL 0235-22-2460

西郷支所
TEL 0235-76-2331

【ご留意事項】

- ・投資信託・国債は預貯金ではなく、預金保険・貯金保険の対象ではありません。
- ・投資信託は価格変動リスク等により元本を割り込むことがあります。また、銘柄ごとに設定された手数料等をご負担いただきます。
- ・個人向け国債は発行後1年間は原則中途換金できません。新窓販国債は中途売却時に元本を割り込むことがあります。
- ・各商品の詳細、リスク、手数料等につきましては、窓口にて契約締結前交付書面等をご確認ください。 商号等: 鶴岡市農業協同組合 登録金融機関 東北財務局長(登金)第154号

No.669 2026年9月発行

- 連絡先／鶴岡市農業協同組合 〒997-8558 山形県鶴岡市日吉町3-1 TEL.0235-23-5090
- ホームページ <https://ja-tsuruoka.or.jp> ●Eメール kesaran@ja-tsuruoka.or.jp
- 印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



JA鶴岡広報誌

けさらん

